

(記載例)

様式1

申 請 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

宮崎県労働委員会会長 殿

申請者 所在地 宮崎市橋通東〇丁目〇〇番〇〇号
〇〇ビル 〇〇号
名 称 〇〇株式会社〇〇〇〇労働組合
代表者職氏名 執行委員長 〇〇〇〇

次のとおり労働争議の(あっせん・調停・仲裁)を申請します。

1 関係当事者

労働組合		使用者	
名 称	〇〇株式会社〇〇〇〇労働組合	名 称	〇〇株式会社
代表者職氏名	執行委員長 〇〇〇〇	代表者職氏名	代表取締役 〇〇〇〇
所 在 地	〒880-〇〇〇〇 宮崎市橋通東〇丁目〇〇番〇〇号 Tel 〇〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	所 在 地	〒880-〇〇〇〇 宮崎市橋通東〇丁目〇〇番〇〇号 Tel 〇〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
組 合 員 数	〇〇人	従 業 員 数	〇〇人
結 成 年 月 日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	設 立 年 月 日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
別組合の名称 及び組合員数	なし	事業の種類	サービス業
		資 本 金	〇〇〇〇千円
上 部 団 体	〇〇〇〇連合	関係事業所の 所在地・名称	〇〇〇〇

2 調整事項

令和〇〇年の年末一時金について

3 意見不一致の要点 (労働者側及び使用者側の主張の要旨)

労働者側の主張：令和〇〇年の年末一時金は3か月分とすることを要求する。

使用者側の主張：令和〇〇年の年末一時金は、経営が苦しいので、1か月分しか支給できない。

4 申請に至るまでの交渉経緯

令和〇〇年〇〇月〇〇日 令和〇〇年年末一時金に係る要求書を会社に提出した。

〇〇月〇〇日 〇〇〇についての第1回団体交渉。会社から〇〇の回答があった。

〇〇月〇〇日 第2回団交。組合は〇〇を主張し、〇〇を提案。
会社は〇〇を提案。

〇〇月〇〇日 第3回団交。組合は〇〇を提案。

〇〇月〇〇日 組合と会社代表による非公式の話し合い。

〇〇月〇〇日 第4回団交。双方がこれ以上譲歩できないと主張

5 争議行為を伴う場合は、その概況

12月1日、始業時間より2時間スト実施予定。

6 労働協約の定めによる申請の場合は、当該協約の関係条項

労働協約第〇〇条：会社又は労働組合のいずれか一方が、労働委員会にあっせんで申請した場合には、他の一方はこれに応じなければならない。